

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市とどろきアリーナ	評価対象年度	平成27年度
事業者名	川崎市スポーツ協会・三井物産フォーサイト共同事業体 <構成団体> ・公益財団法人川崎市スポーツ協会(平成23年11月1日財団法人川崎市体育協会から名称変更) ・三井物産フォーサイト株式会社(平成23年9月1日アーバンプラス株式会社から、平成27年10月1日三井物産ファシリティーズ株式会社から名称変更)	評価者	中原区役所まちづくり推進部 地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	中原区役所まちづくり推進部地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	47,569	91,539	78,914	59,159	72,032	100,574	67,242	77,792	92,014	72,374	61,225	60,636	881,070
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理料	307,023										
		利用料金収入	89,772										
		事業収入他	39,631										
	支出	収入計	436,426										
		人件費	138,705										
		委託費	102,682										
その他経費		187,125											
支出計	428,512												
収支差額	7,914												

左表は、指定管理事業に関わる収入・支出のみ

サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度調査の実施、「館長へのひとことBOX」の設置、利用者懇談会の開催など、利用者の声に積極的に耳を傾けている。 施設の利用提供に際し、開館時間外の利用時間延長などの要望に柔軟に対応している。 各種教室、個人開放、トレーニング室などの各事業について、幅広い利用者層に対する、きめ細かい対応や多種多様なプログラムの設定により、利用者の満足度向上に努めている。 「指導者研修会」、「アリーナまつり」など、市民を対象とした地域還元事業を積極的に行っている。 従来からの回数券に加え、スポーツデー・トレーニング室・スポーツサウナを3箇月利用できるフリーパスや、スポーツサウナのフリーパスを期間限定で販売している。 予約なしで気軽に参加できる体験教室としてワンコイン(500円)レッスンを実施している。 スポーツ用品のレンタル、貸靴、貸ロッカーを実施している。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	4(0.8)	4
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由)	全般的に事業計画に基づいた施設の運営がなされている。 社会体育施設としての役割を十分に認識し、老若男女・親子・障害者など幅広い層を対象とした市民の生涯スポーツ振興に寄与していることは大変評価する。 利用者満足度調査の実施、利用者懇談会の開催及び地域教育会議への参加等を通じて利用者や地域のニーズを把握し、常に検証・見直しを行い、多様なプログラムの展開により幅広い年齢層やニーズに対応するなど、サービス向上につなげており大変評価する。			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	4(0.8)	4
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3	
	(評価の理由)	全般的に、事業計画に基づいた管理業務がなされている。 施設の老朽化への的確な対応、延長利用に対する柔軟な対応など、全般的に適切かつ積極的に各管理業務に取り組むとともに、環境への配慮や利用者への快適な環境づくり、東日本大震災及び広島豪雨災害への継続した復興支援の取組を大変評価する。 多様なスポーツ教室・ワンコイン教室やフリーパスの実施、メインアリーナ・サブアリーナの空き情報の掲示、ホームページでの効果的な情報発信など、利用促進の取組を積極的に実施しており大変評価する。これらの取組等により個人利用者数が大きく増加した。 民間への派遣研修等による人材育成を図るとともに、定期的なAEDを使用した人命救助訓練の実施や消防適合認定が継続認定されるなど、日頃から利用者の安全確保に向けた取組が行われた。			

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加算割合)	評価点
事業 実施 状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供 及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティア の育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツ クラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する 事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 全体的に事業計画に基づいた事業の実施がなされている。 多様な市民ニーズに応じて幅広いニーズ・年齢層に対応する種目を展開し、個人利用者の増加につなげており、努力の成果と捉え大変評価する。 トレーニング室では、「ストレッチ・健康青竹・腰すっきり・肩らくらく・膝しっかり」などの15分の無料体操を1日の中で適宜実施し、高齢者が利用しやすい環境づくりを行った。 また、その他の各事業についても、積極的に取り組み、市民の生涯スポーツの振興につながる多くの機会を提供した。				
収 支 状 況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 節電をはじめとした経費縮減、各種研修を無料で開催するなどの市民還元を図りながら、単年度内で調整し適正な予算執行がなされており大変評価する。				

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。</p> <p>平成27年度は、多様な市民ニーズに応じて幅広いニーズ・年齢層に対応する種目を展開することなどにより個人利用者数を大きく増加させた。また、特別支援の教室や地域への出前事業を実施するなどスポーツ振興の推進に努めた。</p> <p>施設内外の照明のLED化を推進しながら不必要な照明の消灯を励行するなど省エネルギーや経費削減にも積極的に取り組んだ。</p> <p>施設の老朽化に対しても、事前点検や速やかな修繕対応等により適切な維持管理に努めた。</p> <p>平成27年4月執行の統一地方選挙において、中原区開票区の開票所としてサブアリーナの施設提供と各種協力を行い円滑な選挙執行に寄与した。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>平成28年度から指定管理者が変更されたが、利用者のニーズに常に耳を傾け、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の誰もが気軽にスポーツを楽しむ交流できる拠点として、市民の健康・体力の維持・増進と生涯スポーツの振興を推進するとともに、公共性と効率性を両立させた管理運営によりサービス水準の向上と効率的運営を図っていく必要がある。</p> <p>また、区内の総合型地域スポーツクラブとの関係をより強化し、事業協力や連携の推進に努めていく必要がある。</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、事前キャンプ候補地のリストに登載されている施設として相応しい管理運営を行うとともに、高齢者向けプログラムの拡充や障害者スポーツの推進にも一層留意した取組が求められる。</p>
